



最近、街中を歩いていて気持ちのいいことがあります。

それは、信号機のない横断歩道を渡ろうとしたときに止まってくれる車が多くなったことです。これまでは、横断歩道を渡ろうとしても次々と車が走ってきてなかなか渡ることができなかつたのですが、今は、一旦停止してくれる車が多くなり気持ちよく渡れるようになりました。山口県の運転者のマナーが良くなったことがうかがえ、本当にうれしいことです。ちなみに、「2022年信号機のない横断歩道における車の一時停止率」(JAF調査)では、山口県は52.9%(2020年調査では18.0%)、全国平均39.8%(2020年調査では21.3%)という結果でした。この2・3年でとてもよい傾向になっているようです。でも、一番停止率の良い県の長野県は、82.9%となっており、山口県も見習いたいものですね。

「歩きスマホ」の危険性について考える

今号では、歩行者のマナーについて考えてみましょう。

今朝、両耳にイヤホンをして、スマホを見ながら歩いている(まさに、周りの状況が見えず、聞こえないという状態でしょう)若い女性に出会いました。すれ違う時に気配を感じたので、わたしの方を見て避けて通り過ぎていきました。そのようなときに人ではなく車であったらどうなのでしょう。事故があった場合は、運転者が責任を取ることになるのでしょうか。事故を起こした運転手さんにとっては本当に気の毒なことです。

街中を歩いていると本当に多くの方がスマホを見ながら歩いている人に出会います。大人も子どももです。まだ、この防府市で大きな事件・事故が起きたということは聞いていないのですが、全国的には多くの事件、事故例があるようです。

- ・歩きスマホが原因で踏切内に侵入し、電車と衝突
- ・歩きスマホをしていた男性が池に転落
- ・歩きスマホをしていたため、駅のホームから転落

今後、防府市でもこのような事故が起きる可能性は大きいのではないのでしょうか。「歩きスマホ」によって怪我をしたくないのですが、他人を怪我させてもいけません。

運転者による、運転中のスマホ利用については道路交通法による罰則が決められていますが、まだ、歩行者には罰則はありません。しかし、罰則がないのでしてもいいというものではないでしょう。

今年の4月1日から愛知県江南市で「歩きスマホ禁止条例」が施行されたということを知りました(他の自治体でも条例を決めているところもいくつかありますし、海外では罰則付きの国もあります)。防府市でも、「歩きスマホ」が多いという状況のなか、禁止条例が必要なののでしょうか、みなさんはどのように思われますか。

家庭で、「歩きスマホ」の危険性について話し合ったり、「歩きスマホ」はしない、歩いているときにスマホを見なければならぬときはきちんと立ち止まって見るようにする等、家族でルールをつくりませんか。